

第7回大阪地方会 活動報告

平成28年3月12日（土）

於：吹田徳洲会病院 地下1階 講堂

平成28年3月12日（土）吹田徳洲会病院 講堂にて、第7回大阪地方会を開催しました。今年度の締め括りとして医師事務作業補助者にとって大切なコミュニケーションをテーマとしました。コミュニケーションは実務者にとって、とても大切という思いが伝わったのか、当日は会員45名、非会員72名の合計117名の方にご参加いただきました。初めて参加いただいた方、また大阪府以外の遠方からも多く参加いただきましたこと深く感謝しております。



はじめに、吹田徳洲会病院 院長の金香充範先生より、医師事務作業補助者は、医療の現場でとても重要な役割を果たし欠かせない存在になっていること、将来的にはライセンス化されることが重要であり、そのためには知識やスキルを高めていくことが必要で、今後も積極的にこのような勉強会に参加して日々研鑽をしてくださいと励ましのお言葉をいただきました。また、ひとりでも多くの方が研究

会の会員なり、皆さんで力を合わせて活動することがライセンス化への道に繋がるため、是非、会員になって頑張っていたきたいと、今後の取り組みに対する期待のお言葉もいただきました。

続いて、大阪府済生会吹田病院 事務次長で大阪府支部の世話人の松木大作氏より診療報酬改定についての最新情報の報告がありました。今回の診療報酬改定では、医師事務作業補助体制加算1の施設基準が緩和されました。これは実務者の皆さんの活躍により必要性が評価されたものだと考えます。



その後、本日のメインイベント 『笑いの現場から学ぶ！最強医療コミュニケーション なんでもやねん力』というテーマで日本初！漫才セミナー講師 Wマコトさんに講演頂きました。Wマコトさんは、吉本総合芸能学院 NSC のご出身で劇場を中心に漫才の活動後、放送作家に転身。笑いを活用したコミュニケーション術

の第一人者として全国の企業・病院・学校などで研修や講演をされています。

講演の初めに、「笑顔」は、コミュニケーションの第一歩ではなく「ゼロ」です。と話された内容が印象的で、「笑顔」なくしてはコミュニケーションが始まらないこと認識しました。また、周りを笑顔にする笑顔術、相手を喜ばせる事が出来る相槌術、相手の心をキャッチする承認術などコミュニケーションの基本を芸人さんならではの例えを用いられ、その秘訣を学びました。笑いながら学ぶというこれまでの講演とは異なる雰囲気の中、大盛況のうちに終了しました。



最後は、茶話会にて隣の方との名刺交換やグループディスカッションとは異なった雰囲気での情報交換となり、参加者の皆様には楽しく過ごして頂けたと思います。また、当日は矢口理事長にも参加いただき各テーブルを回っていただきました。そこでの悩みの相談や研究会に対する期待も皆様からいただいたと思います。

矢口理事長からも職能団体へ向けての力強い思いが参加者の皆様に伝えられました。

平成 27 年度大阪府支部活動にご協力いただきまして誠にありがとうございました。

平成 28 年度も医師事務作業補助の実務者の方々の更なる成長を目指して活動を行ってまいりますので、今後共ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、今回の地方会にご参加いただきました皆様、準備段階からご協力いただきました全ての皆様方に、この場をお借りして心よりお礼申し上げます。

NPO 日本医師事務作業補助研究会
大阪府支部 副支部長 事務局
府中病院 堀田 恵